

国道322号「八丁峠道路」の朝倉側トンネル工事に着手します。

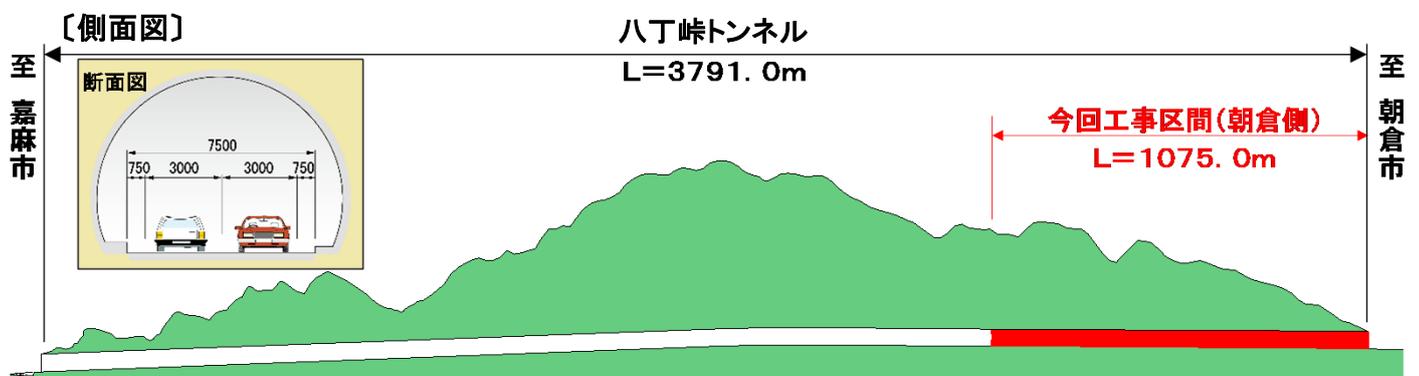
国道322号（福岡県管理）は、北九州市を起点とし、久留米市に至る延長約90kmの幹線道路で、北部九州の物流拠点である北九州港・新北九州空港と県南部を結ぶ重要な路線です。

このうち、嘉麻市・朝倉市境に位置する『八丁峠』は、幅員が狭く急カーブ及び急勾配であるため大型車の離合が困難でコンテナ車の通行ができない区間です。また、異常気象時通行規制区間であり、冬季は積雪や路面凍結により交通が規制されるなど、安全で快適な交通の妨げになっています。

このため、国土交通省が権限代行により、トンネル構造で八丁峠道路（4.5km）を整備しています。

この度、朝倉側のトンネル工事に着手することになりましたのでお知らせします。

なお、平成28年1月23日（土）に起工式を執り行う予定としておりますので具体的な内容等が決まり次第、改めてお知らせします。



問い合わせ先: 国土交通省 九州地方整備局 福岡国道事務所 電話: 092-681-4731 (代表)

技術副所長 やまぐち たかし 山口 隆 (内線204) 工務課長 いとう ひろかず 伊藤 浩和 (内線411)

E-mail: fukkoku@qsr.mlit.go.jp URL: <http://www.qsr.mlit.go.jp/fukkoku/>

国道322号八丁峠道路の整備効果

① 安全性の向上

- 山間部で未改良区間が存在するため、大型車の離合が困難であり、また線形不良箇所も多数存在するため、正面衝突事故や離合時事故が発生。
- 八丁峠道路の整備により、未改良区間の通行が回避され、走行性及び交通安全性の向上が期待。

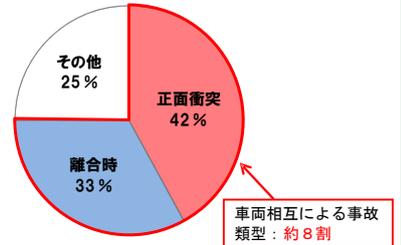


▲離合が難しい箇所

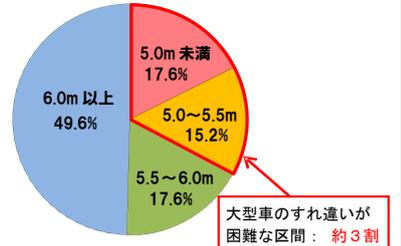


▲車両単独による路外逸脱事故

【交通事故発生状況】(H10～H24)



【車道幅員状況】



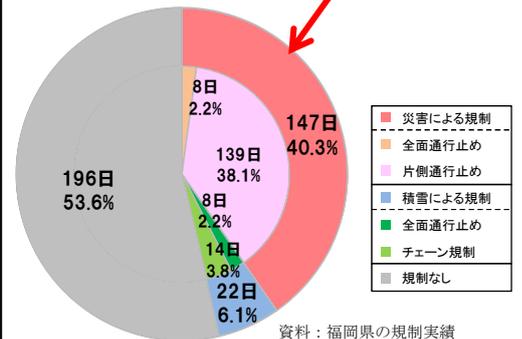
② 信頼性の向上

- 異常気象時通行規制区間及び冬期の凍結により、1年間のうち、約6ヶ月間で通行規制が発生。
- 八丁峠道路の整備により、通行規制区間を回避し、安全かつ円滑な通行を確保。



【八丁峠の通行規制状況】

1年間の約5割(約6ヶ月)で通行規制が発生



資料：福岡県の規制実績
※H17～H24年度平均
集計区間：嘉麻市大力～朝倉市秋月



▲崩壊による全面通行止め



▲路面陥没の状況



▲積雪時による通行障害